

事業名	水道事業維持管理指導費		
細事業名	水質監視事業費	財務コード	088704
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 生活衛生 担当 (内線)	3464	

調書番号	57
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H17 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 水道水の水源となる県内26地点の取水地点	その対象をどのような状態にして 農薬類の検出状況が把握され、安全性が確保されている	結果、何に結びつけるのか 安全で快適な水の供給
	内容 ・「山梨県水道水質管理計画」に基づき、水道事業者等と県が連携して水道水源の広域的監視を行っており、県は農薬類の検査を実施することとしている。 ・検査項目については、「水質監視実施計画」を作成し、定めている。 ・大規模取水、ゴルフ場及び工業団地周辺等の土地の利用形態を考慮し、県下全域の監視が実施できるように監視地点を選定し、水道水源の農薬類の検査を実施する。 ○検査対象：県内26地点の水源(表流水8地点、地下水18地点)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	調査地点	目標	26地点	26地点	26地点	26地点	26地点	26地点
		実績(見込)	26地点	26地点	26地点	26地点	26地点	26地点
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	目標値を超過した地点の割合	目標	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		実績(見込)	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		1,875	1,929	1,927	1,459	1,763	1,609	1,609

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	県内26地点の水道水源を計画どおりに収去し、衛生環境研究所で検査を実施した。
成果指標	b		計画どおり調査・検査を実施することが出来、目標値を超える検出率は0%であった。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	安全で安心な水を県民に供給するため、すでに効率的に事業が執行されている。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	検査フローや事務処理等の効率化により所要時間の短縮などの取り組みは実施済。
見直しの必要性	無	より効率的かつ効果的な検査業務が実施されている。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。